

受験者氏名	WATANABE NORITO		
受験者ID	witness	受験日	2014/12/10

試験結果	SECTION	SECTION 1 語いの知識	SECTION 2 表現の知識	SECTION 3 リスニングでの大意把握能力	SECTION 4 具体情報の聞き取り能力	CASEC TOTAL
	SCORE		173 /250	215 /250	225 /250	177 /250

## CASEC CAN-DOとは

CASECにおけるCAN-DOとは、あるスコアを持つCASEC受験者が、英語を用いてできることを具体的に記述し、スコアの意味する英語力をより明確にイメージできるようにしたものです。CAN-DOは、受験者が現状の能力をより詳細に把握することができるだけでなく、能力が上がっていくにつれ、どのようなことができるようになっていくのかを、具体的にイメージするのにも役立ちます。また、スコアを利用する学校や企業における具体的能力の判断材料としてもご参考いただけます。

CASEC CAN-DOには、CASECの4つのセクション（語いの知識、表現の知識、リスニングでの大意把握能力、具体情報の聞き取り能力）について記したものと、CASECの問題に多く含まれる5つの場面（学校、ビジネス、公共、旅行、娯楽）に特化したものの2種類があります。具体的なCAN-DOの記述文はCASECの問題をもとに作成され、「スピーキング」や「ライティング」に関しては直接測定をしていないことから、今回の記述には含まれていません。

記述文の作成にあたっては、塩澤・石司・島田(2010)のガイドラインを参考にしました。まず「～することができる」「～を知っている」という行動を記述し、必要に応じて以下の3つの要素を組み合わせで作成しました。

- [1]対象：～という素材や事を
- [2]話題や場面：～のような話題や 場面で
- [3]制約条件：～ならば

また1つの記述文に含まれる上記 [1] ~[3] の各要素は、それぞれ英語習熟度が上がるにつれ特徴が以下のように変化していくであろうと想定し、各記述文にその特徴を盛り込んでいます。

- [1]対象：簡単な素材から徐々に複雑で抽象的な素材を扱うことができる
- [2]話題や場面：自分の身近な事柄から徐々にそれ以外の話題について扱うことができる
- [3]制約条件：徐々に制約条件なしで行動を実行することができる

記述文とCASECスコアを対応づけるためのデータ収集は、CASECを利用する学校や企業等の団体に協力を依頼し、予定されていたCASEC受験日と同日、もしくは、前後1ヶ月以内にCAN-DO記述に対する自己評価アンケートを実施してもらいました。また、個人で申込んだ受験者についても任意でCASECの受験後7日以内にアンケートに回答してもらいました。

ここにまとめられた情報は、CASEC受験者の自己評価に基づく回答を、統計的手法を用いてスコアと対応付け、「できる」「ある程度できる」「できない」の3種類に分けて表現しています。あくまでも平均的な能力を示しており、個人によって前後する場合もあります。また、その受験者の能力を保証するものではありませんのであらかじめご了承ください。

【参考文献】塩澤・石司・島田(2010)「言語能力の熟達度を表すCan-do記述の分析-JF Can-do作成のためのガイドライン策定に向けて-」『日本語教育紀要』、第6号、23-38

## CAN-DOの見方

表は、縦枠がスコアレンジ、横枠がそれぞれのセクションや場面を表しています。スコアレンジは下が低く、上のほうに行けばいくほど高いレンジになっていきます。セクション別の場合は各セクションのスコア、場面別の場合はトータルスコアで見ます。

受験者が取得したスコアが入る範囲とそれ以下が「できる」と想定されるCAN-DO記述です。色の付いていない記述がそれにあたります。それよりもひとつ上のスコアレンジは「黄色」がついており、「ある程度できる」と想定される記述です。それよりさらに上の「橙色」になっている部分は「できない」と想定される記述になります。

## セクション別

セクション別の記述は、それぞれの測定領域（語彙の知識、表現の知識、リスニングでの大意把握、具体情報の聞き取り能力）の問題に基づいて、具体的な場면을想定しながら作成されています。

## 場面別

場面別の記述は、CASECの問題に多く含まれる5つの場面（学校、ビジネス、公共、旅行、娯楽）に限定して作成されています。

【学校】学校内で想定される場面をもとに記述が作成されています。授業内で考えられる場面や、先生、友人とのやりとりを想定しています。

【ビジネス】ビジネスの場において想定される場面をもとに記述が作成されています。社内業務や顧客とのやりとりを想定しています。

【公共】様々な公共施設で想定される場面をもとに記述が作成されています。病院、金融機関、役所といった施設を利用する際に遭遇する場면을想定しています。

【旅行】旅行をする際に想定される場面をもとに記述が作成されています。交通機関を利用しての移動や、宿泊施設を利用する際のやりとりを想定しています。

【娯楽】様々な趣味や外出時において想定される場面をもとに記述が作成されています。映画鑑賞、買い物や外食時に遭遇する場면을想定しています。

# CASEC Section別 CAN-DO

SECTION SCORE	SECTION 1 (語いの知識)	SECTION 2 (表現の知識)	SECTION 3 (リスニングでの大意把握能力)	SECTION 4 (具体情報の聞き取り能力)	SECTION SCORE
250	・自分の専門分野の学術文献を読み、その詳細を理解するための語彙力がある。	・相手にリクエストする際に、状況に応じて適切な前置きをするための表現を理解できている。			250
240		・話し合いの場(会議、討論の場など)で別の例を出したり、関連する情報を付け加えたりするなど、自分の主張を支持する情報を追加するための表現を理解できている。	・自分の専門分野についてまとまった内容を聞き、概要を理解することができる。	・日々起こる出来事についてのテレビやラジオの放送を聞き、具体的な情報(出来事の当事者や当事者が何をしたのかなどの客観的事実)を聞き取ることができる。	240
230	・社会で起こる様々な問題について書かれた雑誌や新聞記事の詳細を理解するのに必要な語彙力がある。	・相手に注意を促すための表現を理解できている。	・自分の専門分野における議論の場で相手の主張を理解することができる。	・交渉の場において、相手が提示する条件を聞き取ることができる。	230
220	・文学作品を読み、物語の展開を理解するのに必要な語彙力がある。 ・英字新聞のコラムを読み、出来事の背景を理解するのに必要な語彙力がある。	・英語圏での社会生活で不自由なく過ごすための豊富な英語表現を身につけている。	・公の場で、個人が日常で体験したことについての長めのスピーチを聞き、話の流れを理解することができる。	・自分の専門分野や馴染みのある話題についての講義を聞き、テーマを説明する関連情報(具体例、反対事例など)を聞き取ることができる。	220
210	・人物についての伝記を読み、人物像を理解するのに必要な語彙力がある。	・相手の考えを理解し、譲歩しつつも自分の考えを提示する為の表現を理解できている。	・公共の場(駅、デパート、病院など)で長めの放送を聞き、放送の概要を理解することができる。	・日々起こる出来事についてのテレビやラジオの放送を聞き、出来事の背景やもたらした結果を聞き取ることができる。	210
200	・自分の専門分野やそれに関連する記事を読み、内容の概要を理解するのに必要な語彙力がある。	・文と文を関連付け、筋道を立てて説明するための表現を理解できている。		・相談事を聞き、具体的情報(問題の直接の原因、解決の糸口となりうる情報など)を聞き取ることができる。	200
190	・自分が携わるイベントの企画において、他人が提示した案の詳細を理解するのに必要な語彙力がある。	・相手との共通の身近な話題に関してそれまでの会話の内容を理解し、話題を広げるための表現を理解できている。	・相手の相談事を聞き、概要を理解することができる。	・仲間同士で行う企画の打ち合わせを行う場で、作業の分担を割り振る際に企画内での自分の役割を聞き取ることができる。	190
180	・様々な分野の記事の中で知らない単語があっても、前後の文脈から推測するだけの語彙力がある。	・自己についての情報を伝えるための様々な表現を理解できている。		・自分の要望が受け入れられないことに対する理由を聞き取ることができる。	180
170		・相手の事情に配慮しつつ、何かに誘うための表現を理解できている。	・自分が関心ある人物について長めの説明を聞き、概要を理解することができる。	・施設や物の取り扱いについての説明を受け、重要なポイント(禁止事項、正しい使い方など)を聞き取ることができる。	170
160	・日常的に利用する品やサービスの説明書を読み、利用の手順を理解するのに必要な基本的な語彙力がある。	・相手が述べた情報が間違っているということ伝えるための基礎的な表現を理解できている。			160
150	・限られた分野(自分が関心がある話題など)の一段落程度のまとまった文章の概略を理解するのに必要な基本的な語彙力がある。	・自分が伝えたいことを強調して伝えるための表現を理解できている。	・健康についてのアドバイスを聞き、その概要を理解することができる。	・人物についての説明を聞き、その人物の具体的な特徴(活躍分野、功績など)を聞き取ることができる。	150
140	・自分に関わりある人物(顧客、友人など)からの要望が記された文書を読み、大まかな内容を理解するのに必要な語彙力がある。	・相手に丁寧にお願いするための表現を理解できている。	・日常的に起こりうる問題についてのやりとりを聞き、問題の概要を理解することができる。	・目的地への行き方を聞き具体的な情報(電車の乗り換え場所、注意事項など)を聞き取ることができる。	140
130	・日常的に利用する品やサービスの広告の中から自分が探している情報を見つけるのに必要な基本的な語彙力がある。	・相手が気軽に、手助けの申し出をするための表現を理解できている。	・公共の場(駅、学校など)で短い放送を聞き、放送の概要を理解することができる。	・日常的に使用する物の使用方法についての説明を聞き、具体的な情報(使用手順、注意事項など)を聞き取ることができる。	130
120	・個人の感想や日々の出来事を簡単に纏った記事を読み、大体的内容を理解するのに必要な基本的な語彙力がある。	・相手の話を自分が理解していることを伝えるための基礎的な表現を理解できている。			120
110	・自分の一日の予定を相手に伝えるのに必要な基本的な語彙力がある。	・相手から許可を得るための基礎的な表現を理解できている。	・人物についての簡単な説明を聞き、人物像を理解することができる。	・身近な人物の体調についての説明を聞き、どのような状態なのか具体的な情報を聞き取ることができる。	110
100	・自分宛ての短い伝言(手紙、メモ、E-mailなど)の内容を理解するのに必要な基本的な語彙力がある。	・身近な人(家族、友人など)の体調や近況をたずねるための基礎的な表現を理解できている。	・ゆっくりと話す会話において個人がかかえる事情を聞き、何に困っているのか推測することができる。	・公共の場(駅、学校など)で短い放送を聞き、該当する人物は具体的に何をすればよいのかを聞き取ることができる。	100
90	・自分が関わる身近な行事(「祭り」、「講義」など)を表す単語を知っている。	・自分が望むもの/ことを相手に伝えるための基礎的な表現を理解できている。		・ゆっくり話す会話において、自分を評価する短めのコメントを聞き、具体的な情報(どの点が良いのか、悪いのかなど)を聞き取ることができる。	90
80			・天候についての情報のやり取りをするための基礎的な表現を理解できている。	・ゆっくり話す会話において、自分に対する短めの助言を聞き、今後どうすればよいのかを聞き取ることができる。	80
70	・自分が行うことの頻度(「時々」、「しばしば」など)を表す単語を知っている。		・言葉で人をほめたり、励ましたりするための初歩的な表現を理解することができる。	・ゆっくり話す会話において、身近な人物の一日の予定を聞き、具体的な情報(授業予定、出社予定など)を聞き取ることができる。	70
60			・自分が知りたい情報(「何を」、「いつ」、「どこで」など)を相手に尋ねるための基礎的な表現を理解できている。		60
50		・気軽にお願いをするための基礎的な表現を理解できている。	・自分が知りた情報(「何を」、「いつ」、「どこで」など)を相手に尋ねるための基礎的な表現を理解できている。	・ゆっくり話す身近な話題の会話において、登場人物が何をするのか(したのか)を聞き取ることができる。	50
40	・日常的に用いる物の特徴(「古い」、「重い」など)を表す単語を知っている。	・相手を何かに誘うための初歩的な表現を理解することができる。	・自分が知りた情報(「何を」、「いつ」、「どこで」など)を相手に尋ねるための基礎的な表現を理解できている。	・ゆっくり話す身近な話題において、相手から簡単なお願い事されたとき、具体的に何をすればよいのかを聞き取ることができる。	40
30	・人の心情(「嬉しい」、「申し訳ない」など)を表す基礎的な単語を知っている。		・自分が日常的によく使う数(「1」、「2」など)を表す単語を知っている。	・ゆっくり話す自己紹介を聞き、その人物の具体的な情報(趣味、出身地など)を聞き取ることができる。	30
20	・自分が日常的によく使う動作(「見る」、「食べる」など)を表す単語を知っている。	・謝るための初歩的な表現を理解することができる。	・自分が日常的に行う動作(「見る」、「食べる」など)を表す単語を知っている。	・ゆっくり話す会話において、日常的によく用いる物の単語を聞き取ることができる。	20
10	・自分が日常的に行う動作(「見る」、「食べる」など)を表す単語を知っている。	・授業内で先生が出す短い指示(「教科書を開いて」など)を理解することができる。	・お礼を言うための初歩的な表現を理解することができる。	・ゆっくり話す短い会話において、会話に登場する人物がいる具体的な場所(公園、駅など)を聞き取ることができる。	10
	・自分が日常的に行う動作(「見る」、「食べる」など)を表す単語を知っている。	・簡単なあいさつを理解することができる。	・お礼を言うための初歩的な表現を理解することができる。	・ゆっくり話す会話において、特定の日や期間を表す単語(誕生日、休暇など)を聞き取ることができる。	
	・自分が日常的に行う動作(「見る」、「食べる」など)を表す単語を知っている。		・簡単なあいさつを理解することができる。	・ゆっくり話す会話において、登場人物(人の名前、「彼」など)を聞き取ることができる。	

# CASEC 場面別 CAN-DO



Computerized Assessment System for English Communication

TOTAL SCORE	学校	ビジネス	公共	旅行(交通を含む)	娯楽	TOTAL SCORE
1000	<p>一般教養の講義を受け、概要を理解することができる。</p>	<p>・経済、ビジネスをテーマにした講演を聞き、詳細まで理解することができる。</p>	<p>・病院や診療所において自分の症状について説明を受ける際、まとまった内容を理解することができる。</p>	<p>・乗り物内で天候や運行状況についての長めのアナウンスを聞き、話者の訛りや話し方に関わらず、詳細を理解することができる。</p> <p>・長めの旅行体験談を聞き、概要を理解することができる。</p>	<p>・映画や演劇などの作品について、専門的な観点も盛り込まれた評論を読み、詳細を理解することができる。</p>	1000
950						950
900						900
850						850
800						800
750						750
700						700
650						650
600						600
550						550
500	500					
450	450					
400	400					
350	350					
300	300					
250	250					
200	200					
150	150					
100	100					